



一般財団法人
風に立つライオン基金

高校生

ボランティア

アワード

2016

大会報告サマリー

君の志を応援します!

The L I O N
STANDING AGAINST
The W I N D F U N D
F O U N D A T I O N

ごあいさつ

君の志を応援します！

「高校生ボランティア・アワード2016」は、全国の高校生の皆さんが日頃から続けている「ささやかで偉大な活動」を応援する「顕彰プロジェクト」です。

私たち風に立つライオン基金は、平和や命を守るために、あるいは、困っている人を助けたり、勇気づけたりするための「活動」のすべてを素晴らしい行為であると考え、その全ては称賛に値すると、心から信じます。

「アワード」という言葉から活動の規模や内容の優劣を競い合う「大会」をイメージされるかもしれませんが、私たちはこの大会を「志」を同じくする者同士が集い、肩を叩き合って励まし合い、語り合う「交流会」として企画しました。

全国の学校でボランティア活動を行っている高校生の皆さんが、学校や活動分野の垣根を越えて自由で活発な交流を行い、互いの活動に対する理解を深め、連携したり助け合ったり、切磋琢磨してもらうことを目的としています。

趣旨に賛同していただける学校、団体であれば、誰でも参加が可能な開かれた会で、生徒の皆さんの活動を一層発展させるヒントを見つけたり、勇気をもらったりできる「場」を創り出すことを目指しています。

「高校生ボランティア・アワード2016」を通じて、次代を拓き担って行く生徒の皆さんが「社会に対してどんな行動をすべきか」を考え、「人のために行動することが自分自身の成長につながる」ことに気付く、そんな“強くてやさしい心”を育ててほしいと願っています。

2016年8月15日

一般財団法人

風に立つライオン基金

「高校生ボランティア・アワード2016」タイムテーブル

会場：國學院大學 渋谷キャンパス

発表大会：8月15日(月)

会場：学術メディアセンター1F 常磐松ホール

時間	プログラム	進行内容
12:00	受付開始	12:00~12:50受付
13:00	開会式	開会挨拶 主催者挨拶 / 来賓紹介
13:20	発表大会(第1グループ)	発表校1~8プレゼンテーション
14:40	休憩(10分間)	
14:50	発表大会(第2グループ)	発表校9~16プレゼンテーション
16:10	休憩(10分間)	
16:20	発表大会(最終グループ)	発表校17~25プレゼンテーション
17:50	発表大会終了	初日総括 / 翌日のスケジュール案内 レセプション会場へ移動
18:00~19:00	レセプション(交流会)	会場:大学キャンパス内カフェラウンジ

シンポジウム及び表彰式：8月16日(火)

会場：百周年記念館4F 記念講堂

時間	プログラム	進行内容
10:00	受付開始	10:00~10:50受付
11:00	開会	2日目開会挨拶 プログラム紹介
11:10	基調講演	講演者:国境なき医師団日本会長 加藤寛幸先生 講演者:車椅子バスケットボール元日本代表 増子恵美先生
12:00	シンポジウム	講演者と参加者の意見交換
13:00	休憩(1時間半)	大学キャンパス内学食にて昼食
14:30	表彰式	設立者 さだまさし 評議員 鎌田實 挨拶 表彰状・記念品の贈呈 / 各賞の贈賞 各賞の講評
16:20~16:30	閉会式	全体講評



岡山県

山陽女子高等学校

エントリー
No.1

JRC部 FLOWERプロジェクト
～子どもたちの未来に花を咲かせよう～

活動内容 東日本大震災チャリティーバザーの開催、募金活動、料理教室開催等

地歴部 瀬戸内海の海底ごみ問題解決プロジェクト
～見えないものだから大切にしたい～

活動内容 瀬戸内海の海底ごみの回収・分別作業、出前授業、講演会実施



兵庫県

神戸龍谷高等学校 JVC(ジュニアボランティアクラブ)

エントリー
No.3

知的障がい者 本人会「てとて」との交流／ネパール教育支援プロジェクト

活動内容

知的障がい者との交流としてのイベント開催、
ネパール震災孤児の就学支援、災害支援、募金活動等



愛知県

桜花学園高等学校 インターアクトクラブ

エントリー
No.7

しあわせ届け隊～手遊び&ミュージックベルを通じた実践報告～

活動内容

福祉施設での手遊び・ミュージックベル等のパフォーマンス



岐阜県

岐阜県立岐阜工業高等学校 化学研究部

エントリー
No.8

心に笑顔 ～咲かせよう光エコ消しゴムの花～

活動内容

「ものづくり」(光るエコ消しゴム)による情報発信、出前講座、
地域イベント参加等



高知県

高知県立嶺北高等学校 嶺北ECOFLUGELS

エントリー
No.9

ESR(EDUCATION FOR SUSTAINABLE REIHOKU)
地域を知り、つながり、自分と地域の将来を考える。

活動内容

東日本大震災で被災したどんぐりの栽培、
水生生物を利用した水質検査、情報発信等



岡山県

おかやま山陽高等学校 硬式野球部

エントリー
No.13

世界の笑顔のために

活動内容

タイ野球留学生の受入れ、
カンボジアの井戸掘り・校舎建設・野球指導等

長野県

エクセラン高等学校 環境科学コース

エントリー
No.16

地域と連携した里山 & 河川の保全を目指して

活動内容

地域河川と里山の保全・清掃活動、
小学校への出前授業、荒廃した竹の再利用等

山梨県

身延山高等学校 手話コミュニケーション部

エントリー
No.18

聴覚障がい者と聴者の架け橋になる ～聴覚障がい者の理解と手話の普及を目指して～

活動内容

保育園・小中学校、復興地仮設住宅での手話教室の開催、
ろう学校訪問等

大分県

大分県立国東高等学校 JRC部

エントリー
No.20

人と繋がる・・・高校生による元気な町作り!

活動内容

子ども・高齢者向け講習会実施、イベント開催、
神社仏閣清掃、海岸清掃、地域イベント参加等

福島県

福島県立平工業高等学校 生徒会

エントリー
No.21

すべては喜んでくれる人たちの笑顔のために

活動内容

アルミ缶回収による老人ホームへの車椅子寄贈、使用済みプリペイドカード
回収による開発途上国支援、ペットボトルキャップ回収による世界の子ども
たちへのワクチン発送、アフリカ・マリ共和国への支援物資発送等



岐阜県

岐阜県立岐山高等学校 生物部 カワニナ班

エントリー
No.25

カワニナから考える地域の生態系

活動内容

カワニナ(ゲンジボタルの幼虫)を通じた地域生物の生態系の保護、
小学校出前教室等



石川県

石川県立津幡高等学校 朱鷺サポート隊

エントリー
No.26

トキ・コウノトリを通じた生物多様性の普及・啓発活動

活動内容

特別天然記念物のトキ・コウノトリの保護・繁殖他、
生物多様性の普及・啓発活動



香川県

坂出第一高等学校 料理研究部

エントリー
No.28

食のアンテナショップ SAKAIDE

活動内容

幼稚園へのプレートランチの提供、
ゴーヤ栽培・商品開発、講習会の実施等



宮城県

宮城県名取北高等学校 奉仕活動部

エントリー
No.33

今、私たちにできること(被災地の高校生のボランティア活動)

活動内容

一人暮らしのお年寄り宅へのお弁当配達、
ひまわりや松苗の植栽、募金活動等



広島県

広島市立広島工業高等学校 広島市エグリーン・プロジェクト

エントリー
No.40

高校生による、持続可能な社会の実現 ～エコ・エンジニアを目指して!～

活動内容

壁面・屋上緑化による環境負荷軽減活動、
土砂崩れ検知システムの開発



神奈川県

神奈川県立吉田島総合高等学校 農業クラブ 草花部

エントリー
No.41

植物を通しての開成町との連携活動について／幻の里芋～開成弥一芋の普及を目指して～／トチュウ栽培による休耕地削減を目指して

活動内容

開成町へ苗の植え付け、開成町特産品「弥一芋」の種芋生産と普及活動、トチュウ栽培による休耕地再利用



和歌山県

和歌山県立那賀高等学校 生徒会・放送部

エントリー
No.47

ぼくらの和歌山線プロジェクト

活動内容

JR和歌山線の清掃とプロモーション活動



愛知県

光ヶ丘女子高等学校 点訳部

エントリー
No.54

交流・発見・喜び ～点訳活動を通して～

活動内容

点字本・絵本・カレンダー制作、啓蒙活動、盲学校との交流等



神奈川県

慶應義塾湘南藤沢高等部 有志団体・環境プロジェクト

エントリー
No.55

エコ出前授業

活動内容

小学校へ環境保全の出前授業



兵庫県

兵庫県立柏原高等学校 インターアクトクラブ

エントリー
No.57

兵庫県丹波市在住の外国人住民の自己肯定感を高め、丹波市民との信頼関係を醸成する活動

活動内容

丹波市在住外国人小学生への日本語教室の開催、各種イベント開催、防災教育等



東京都

**東京学芸大学附属国際中等教育学校
ボランティア部**

エントリー
No.59

**GCMP×TGUISSボランティア部
SOUJI海を渡るプロジェクト**

活動内容 バングラデシュへ掃除文化の輸出



静岡県

**静岡県立掛川東高等学校
ボランティア部**

エントリー
No.61

やらされるボランティアは、もうしない

活動内容 募金活動、フードバンクへの食品支援、
地域の行事参加等



東京都

**東京都立多摩工業高等学校
JRC部**

エントリー
No.63

地域連携ボランティア活動

活動内容 NPO法人「海外に子ども用車椅子を送る会」の整備活動参加、
小学校出前教室等



神奈川県

**日本女子大学附属高等学校
人形劇団ペロッコ**

エントリー
No.64

人形を通してのボランティア

活動内容 障がい者・高齢者施設や保育園での人形劇公演



静岡県

**静岡県立富岳館高等学校
農業クラブ**

エントリー
No.69

被災地に緑を！～全国の高校生と挑戦した環境保護活動～

活動内容 キノコから抽出した植物成長調節物質「AHX」「AOH」を使った東北地方の
緑化活動、幼稚園・小学校の出前授業、情報発信

発表大会参加校(団体)の活動一覧

北海道阿寒高等学校(北海道)

ボランティア局
地域を知る・人とつながる

北海道標茶高等学校(北海道)

地域環境系列
地域へ発信!! ☆インタープリテーション☆(仮)

青森県立七戸高等学校(青森県)

青少年赤十字(JRC)部
いのち・平和・成長を大切にす赤十字部

宮城県名取北高等学校(宮城県)

奉仕活動部
今、私たちにできること(被災地の高校生のボランティア活動)

仙台白百合学園高等学校(宮城県)

社会奉仕部小百合会
社会奉仕部小百合会～すべての人々の幸せを願って～

福島県立平工業高等学校(福島県)

生徒会
すべては喜んでくれる人たちの笑顔のために

栃木県立学悠館高等学校(栃木県)

JRC部
地域と連携した防災への取り組み～生徒の「気づき」から始まった防災講座～

開智高等学校(埼玉県)

編集ボランティア活動
情報交流誌の編集ボランティア

星野高等学校(埼玉県)

国際文化部
“今、私たちにできること……一世界をつなぐ風になりたい”

千葉県立国分高等学校(千葉県)

バントワリング部
地域との交流

東洋高等学校(東京都)

ボランティア部
高尾山の環境保全と清掃活動

小野学園女子高等学校(東京都)

インターアクトクラブ
身近な福祉から考えてみよう

お茶の水女子大学附属高等学校(東京都)

アフガンボランティア部
東日本大震災を忘れない

正則学園高等学校(東京都)

編集ボランティア活動
情報交流誌の編集ボランティア

東京都立杉並総合高等学校(東京都)

国際交流委員会およびスギソウ組Team F
持続可能な国際交流

順天高等学校(東京都)

社会福祉部
震災を忘れない

淑徳巣鴨高等学校(東京都)

美子文会
美子文会から世界へ

東京学芸大学附属国際中等教育学校(東京都)

ボランティア部
GCMP×TGUISSボランティア部 SOU川海を渡るプロジェクト

東京都立多摩工業高等学校(東京都)

JRC部
地域連携ボランティア活動

横須賀学院高等学校(神奈川県)

インターアクト部
環境保護活動及び国際協力活動

洗足学園高等学校(神奈川県)

編集ボランティア活動
情報交流誌の編集ボランティア

鹿島学園高等学校横浜南キャンパス(神奈川県)

編集ボランティア活動
情報交流誌の編集ボランティア

神奈川県立弥栄高等学校(神奈川県)

編集ボランティア活動
情報交流誌の編集ボランティア

神奈川県立吉田島総合高等学校(神奈川県)

農業クラブ 草花部
植物を通しての開成町との連携活動について/幻の里芋～開成弥一手の普及を目指して～
杜仲栽培による休耕地削減を目指して

横浜市立横浜総合高等学校(神奈川県)

ボランティア部
牙なし象のレマ 横総Ver.

慶應義塾湘南藤沢高等部(神奈川県)

有志団体・環境プロジェクト
エコ出前授業

日本女子大学附属高等学校(神奈川県)

人形劇団ベロッコ
人形を通してのボランティア

富山県立氷見高等学校(富山県)

JRC部
地域と連携しながら、ともに支え合うボランティア活動

富山県立中央農業高等学校(富山県)

河川環境を守り隊
特定外来生物オオキンケイギクの駆除活動

石川県立津幡高等学校(石川県)

朱鷺サポート隊
トキ・コウノトリを通じた生物多様性の普及・啓発活動

身延山高等学校(山梨県)

手話コミュニケーション部
聴覚障がい者と聴者の架け橋になる～聴覚障がい者の理解と手話の普及を目指して～

エクセラン高等学校(長野県)

環境科学コース
地域と連携した里山&河川の保全を目指して

長野県下高井農林高等学校(長野県)

園芸福祉クラブ
地域ととともにいきいき!私たちが目指す園芸福祉交流

岐阜県立岐阜工業高等学校(岐阜県)

化学研究部
心に笑顔一咲かせよう光エコ消しゴムの花一

岐阜県立岐山高等学校(岐阜県)

生物部 カワニナ班
カワニナから考える地域の生態系

岐阜市立岐阜商業高等学校(岐阜県)

岐阜市立岐阜商業高等学校
市岐商478全力貢献

静岡県立佐久間高等学校(静岡県)

ファール委員会
クワツバメシジミ・ツメレンゲ 保護活動報告

静岡県立磐田北高等学校(静岡県)

ひまわりの会
ひまわりの花のように

静岡県立掛川東高等学校(静岡県)

ボランティア部
やらされるボランティアは、もうしない

静岡県立富岳館高等学校(静岡県)

農業クラブ
被災地に緑を!~全国の高校生と挑戦した環境保護活動~

桜花学園高等学校(愛知県)

インターアクトクラブ
しあわせ届け隊~手遊び&ミュージックベルを通じた実践報告~

光ヶ丘女子高等学校(愛知県)

点訳部
交流・発見・喜び 一点訳活動を通して~

名古屋経済大学高蔵高等学校(愛知県)

理科部
山崎川から広がった地域の輪

京都府立京都八幡高等学校・南キャンパス(京都府)

ボランティア部
障がいのある子どもたちとの交流(放課後等デイサービス)

京都府立綾部高等学校(京都府)

分析化学部
川を元気に町元気に~由良川の保全活動について~

大阪府立園芸高等学校(大阪府)

ピオトープ部
身近な生き物と昆虫少年。少女復活プロジェクト

大阪府立枚岡樟風高等学校(大阪府)

瓢箪山戦隊ショウフウジャー
地域密着型ヒーロー「ショウフウジャー」で地域を元気に!

神戸市立科学技術高等学校(兵庫県)

空飛ぶ車いす研究会
使われなくなった車いすを修理・補修・点検し東南アジア諸国へ送っています

神戸龍谷高等学校(兵庫県)

JVC(ジュニアボランティアクラブ)
知的障がい者 本人会「てとて」との交流/ネパール教育支援プロジェクト

兵庫県立柏原高等学校(兵庫県)

インターアクトクラブ
兵庫県丹波市在住の外国人住民の自己肯定感を高め、丹波市民との信頼関係を醸成する活動

奈良県立御所実業高等学校(奈良県)

環境緑地科「生物多様性の保全」研究班
生物多様性ならプロジェクト

和歌山県立那賀高等学校(和歌山県)

生徒会・放送部
ほくらの和歌山線プロジェクト

和歌山県立熊野高等学校(和歌山県)

kumanoサポーターズリーダー
地域に根ざし、貢献する高校生リーダー

出雲西高等学校(島根県)

インターアクトクラブ
"出雲西高インターアクトクラブの環境保全活動と国際活動について"

島根県立平田高等学校(島根県)

JRC部
(災害など緊急時に備えて)私たち高校生にできること

山陽女子高等学校(岡山県)

JRC部
FLOWERプロジェクト~子どもたちの未来に花を咲かせよう~
地歴部
瀬戸内海の海底ごみ問題解決プロジェクト~見えないものだから大切にしたい~

おかやま山陽高等学校(岡山県)

硬式野球部
世界の笑顔のために

岡山県立倉敷中央高等学校(岡山県)

福祉科
ボランティアから夢へ

広島市立広島工業高等学校(広島県)

広島市エグリーフ・プロジェクト
高校生による、持続可能な社会の実現~エコ・エンジニアを 目指して!~

坂出第一高等学校(香川県)

料理研究部
食のアンテナショップ SAKAIDE

新田青雲中等教育学校(愛媛県)

手話部
「しあわせ運べるように」手話動画

愛媛県立新居浜東高等学校(愛媛県)

地域・国際研究部
高校生の私たちにできること

高知県立嶺北高等学校(高知県)

嶺北ECOFLUGELS
ESR(EDUCATION FOR SUSTAINABLE REIHO) 地域を知り、つながり、自分と地域の将来を考える。

高知県立中村高等学校西土佐分校(高知県)

地域ボランティア隊Rapport
笑顔を届けるボランティア活動

清和女子高等学校(高知県)

清和ユネスコスクールプロジェクト実行委員会 ユネスコ環境プロジェクト
ホテル保護活動

大分県立国東高等学校(大分県)

JRC部
人と繋がる...高校生による元気な町作り!

鹿児島県立鹿屋高等学校(鹿児島県)

インターアクトクラブ
エコキャップ運動でつながる命 一私たちにできるワクチンをとどける活動~

Fort Richmond Collegiate(カナダ)

編集ボランティア活動
情報交流誌の編集ボランティア

高校生ボランティア・アワード2016
サマリー

参加校数: 122校
参加団体数: 126団体
参加生徒数: 3,159人

顕彰校(団体)一覧

双葉高等学校(北海道)
奉仕活動部

江陵高等学校(北海道)
福祉クラブ

北海道帯広南商業高等学校(北海道)
ボランティア部

宮城県本吉響高等学校(宮城県)
ハンドインハンド部

宮城県村田高等学校(宮城県)
JRC部

尚綱学院高等学校(宮城県)
インターアクトクラブ

福島県立あさか開成高等学校(福島県)
読み聞かせボランティア部/イガノJRCボランティア委員会

水戸女子高等学校(茨城県)
インターアクトクラブ

伊勢崎市立四ツ葉学園中等教育学校(群馬県)
JRC・インターアクト部

国府台女子学院高等部(千葉県)
ボランティア部

大妻中野高等学校(東京都)
JRC部

蒲田女子高等学校(東京都)
JRC部

東京都立田無工業高等学校(東京都)
都市工学科1年A組/生徒会/ラグビー部

八王子高等学校(東京都)
ボランティア部

京華女子高等学校(東京都)
ボランティア同好会

立志舎高等学校(東京都)
ボランティア同好会

東京都立足立東高等学校(東京都)
ボランティア部

東京都立目黒高等学校(東京都)
生徒会

東京都立蒲田高等学校(東京都)
ボランティア部

藤村女子高等学校(東京都)
児童文化部

立花学園高等学校(神奈川県)
インターアクトクラブ

神奈川県立麻生高等学校(神奈川県)
GCC

茅ヶ崎北陵高等学校(神奈川県)
JRC部

山梨英和高等学校(山梨県)
YWCAひまわり部

長野県駒ヶ根工業高等学校(長野県)
助っ人同好会

静岡県立金谷高等学校(静岡県)
ボランティア同好会

名古屋大谷高等学校(愛知県)
生徒会

南山高等学校女子部(愛知県)
小百合会

愛知県立豊田工業高等学校(愛知県)
チームAMITAMA

中部大学春日丘高等学校(愛知県)
インターアクトクラブ

福山女学園高等学校(愛知県)
社会福祉部

豊川高等学校(愛知県)
インターアクトクラブ

鈴鹿高等学校(三重県)
クオーレ

滋賀県立八日市南高等学校(滋賀県)
地域支援活動同好会

大阪府立堺工科高等学校(大阪府)
生徒会執行部

大阪府立東百舌鳥高等学校(大阪府)
大阪府立東百舌鳥高等学校

金蘭千里高等学校(大阪府)
ボランティア部

兵庫県立但馬農業高等学校(兵庫県)
ボランティア部

芦屋学園高等学校(兵庫県)
ボランティア部

兵庫県立東播磨高等学校(兵庫県)
生徒会

檀原学院高等学校(奈良県)
インターアクトクラブ

和歌山県立海南高等学校美里分校(和歌山県)
生徒会

出雲北陵高等学校(島根県)
インターアクトクラブ

広島なぎさ高等学校(広島県)
ボランティア部

福山暁の星女子高等学校(広島県)
第1学年

山口県立豊北高等学校(山口県)
ボランティア研究会

愛媛県立宇和島東高等学校(愛媛県)
ボランティア部

福岡県立小倉工業高等学校(福岡県)
インターアクトクラブ

長崎女子高等学校(長崎県)
インターアクトクラブ

長崎県立佐世保北高等学校(長崎県)
長崎県北地区部 高校生1万人署名活動・1万本鉛筆運動

熊本県立玉名工業高等学校(熊本県)
JRC部

大分県立臼杵高等学校(大分県)
ユネスコ部

鹿児島県立野田女子高等学校(鹿児島県)
ボランティア部

沖縄県立宜野座高等学校(沖縄県)
ボランティア部

後援

内閣府／社会福祉法人 NHK厚生文化事業団

協賛



国学院大学

DNP 大日本印刷

YAHOO! JAPAN

特別応援

特定非営利活動法人 国境なき医師団日本

協力

特定非営利活動法人 学校マルチメディアネットワーク支援センター

基調講演講師



国境なき医師団日本会長 小児科医 加藤 寛幸(かとう ひろゆき)

2003年よりMSFの医療援助活動に参加し、2015年3月より現職。これまでに南スーダン、シエラレオネ、アフガニスタンなどの国で主に医療崩壊地域の小児医療を担当。東日本大震災や熊本大地震での活動にも参加。島根医科大学(1992年)卒業、タイ・マヒドン大学熱帯医学校にて熱帯医学ディプロマ取得(2001年)。1965年11月29日生まれ。東京都出身。

高校生の皆さんへ

皆さんのボランティア活動と私たち国境なき医師団の活動は全然違うと思う人がいるかもしれませんが、果たして本当にそうでしょうか。私は、どちらもある共通する想いの結晶であるという点で何も変わらないと考えています。その想いとは、苦しんでいる人の「悲しみを減らしたい」「笑顔にしたい」「ニーズに応えたい」という想いです。皆さんの熱い!想いのこもった発表を楽しみにしています。

国境なき医師団とは

国境なき医師団(Médecins Sans Frontières=MSF)は、中立・独立・公平な立場で人種や政治、宗教に関わらず医療・人道援助を提供している民間・非営利の国際団体。MSFの活動は緊急性の高い医療ニーズに応えることを目的としていて、紛争や自然災害の被害者、貧困などさまざまな理由で保健医療サービスを受けられない人びとなど、その対象は多岐にわたります。

日本からもスタッフを派遣しており、2015年には99人がのべ148回、31の国と地域で活動しました。

基調講演講師



車椅子バスケットボール 元日本代表
増子 恵美(ましこ めぐみ)

1991年交通事故により脊髄を損傷し車いす生活となる。1992年より車いすバスケットボール競技を始めた。翌年から日本代表強化選手として合宿に参加。以後、アトランタ・シドニー・アテネ・北京パラリンピックに出場し、シドニーでは銅メダルを獲得した。2015年に20年間の日本代表としての責務を全うし現役を引退した。「身近に困った人がいたら助ける」という両親の教えの元、2011年東日本大震災時には避難所への物資運搬や障がいのある方への避難支援、警戒区域内での動物保護活動を行った。

現在は、1996年より勤務している福島県障がい者スポーツ協会において、地域の障がい者スポーツ、特に重度障がい者や知的障がい者が地域でスポーツに親しむ環境の整備に力を注いでいる。

特別応援団



テツ and トモ

1998年2月にコンビを結成。2001年国立演芸場、花形演芸大賞銀賞を受賞。翌2002年には金賞を獲得。「なんでだろう〜」が2003年新語流行語大賞、年間大賞を受賞。4月6日には、新曲「泥の中の蛍／おんなじ空の下」、6月22日にはNHKみんなのうた「とろろおくらめかぶなっとう」(6月～7月放送)をリリース。現在テレビ出演の他、全国各地で老若男女楽しめる、お笑いと歌のステージを展開している。

司会進行



寺岡 のぞみ

生島企画室所属フリーアナウンサー。北海道出身。フリーアナウンサーとして現在、テレビ、ラジオ、イベントなどの司会等で活躍中。特技は歌、子どもをあやす、冷蔵庫のあまりものでご飯を作ること。小説を鋭意執筆中。

プレゼンター



鎌田 實

一般財団法人 風に立つライオン基金
評議員

東京医科歯科大学医学部卒業後、諏訪中央病院へ赴任。医師として地域医療に尽力。30代で院長となり(現在は同院名誉院長)経営難だった病院を再生させた。1991年よりベラルーシ共和国の放射能汚染地帯へ100回を超える医師団を派遣。2004年からイラクへの医療支援を開始。難民キャンプでの診察を続けている。



若旦那

そのストレートで、熱く、優しい言葉で、日本の音楽シーンにおいて唯一無二の存在であり続けている若旦那。“湘南乃風”の活動と並行して、自身のソロ名義の作品リリース、他アーティストのプロデュース、楽曲提供なども行っている。様々なチャリティ活動や震災への支援活動を行うなど、文化人として幅広い社会活動にも参加している。



ももいろクローバーZ

百田夏菜子、玉井詩織、佐々木彩夏、有安杏果、高城れにの5人によるガールズユニット。08年結成。2010年5月に「行くぜっ!怪盗少女」でメジャーデビュー。14年3月には女性グループ初&史上最速結成6年で国立競技場でワンマンライブを、16年2月から4月にかけては自身初となる5大ドームツアーを開催した。

高校生の皆さんへ

『青春時代』とは少年時代に自分の心に芽生えた「志」を大きく育て、或いは耕し、また広く活かす季節のことです。「スポーツ愛」も素晴らしいし「恋」もまた素晴らしい。しかし、誰もが「誰かの役に立ちたい」と思っている、それに向かって一歩踏み出す「志」や「勇気」はなかなか出てこないものです。私たち『風に立つライオン基金』はそういう青春たちの温かい「志」や「勇気」を応援します。そしてこの国の遙か未来の、ささやかな幸せに向かって同じ希望を抱き、育みたいと心から願います。「誰かの幸せのために」「誰かの役に立ちたい」と戦う君たちは美しいです！私たちは、君たちの切ない努力や地道な活動を支援し、心から讃えます。一緒に未来に向かいましょう！

1952年、長崎市出身。シンガー・ソングライター、小説家。ヴァイオリン修行のため、小学校卒業と同時に単身上京。'73年フォークデュオ・グレープとしてデビュー。'76年ソロ・シンガーとして活動を開始。「関白宣言」「秋桜」「北の国から」など数々の大ヒット曲を生み出す。通算4,150回（2016年8月現在）を超えるコンサートのかたわら、小説家としても「解夏」「風に立つライオン」「ちゃんぽん食べたかった！」など10作品を発表。東日本大震災以来、日本各地で頻発する自然災害の被災地への支援を積極的に行っており、永続的な社会貢献をするために2015年8月10日に「一般財団法人 風に立つライオン基金」を設立。



一般財団法人
風に立つライオン基金
設立者・理事

さだ まさし

発表大会

2日間にわたり、國學院大學渋谷キャンパスで開催された高校生ボランティア・アワード2016。1日目は学術メディアセンター1F常盤松ホールを会場に、発表大会参加校の中から代表24校の発表が行われました。発表校はもちろん、顕彰校の生徒も駆けつけ、大会を応援しました。受付には高松商業高校書道部による書道作品を展示。ロビーでは、当日来場出来なかった学校による展示発表もあり、皆さん足を止めて熱心に活動の発表に見入っていました。



いよいよスタート! 開会式の挨拶後、会場に登場したのは、なんとテツandトモのお二人。一気に会場が盛り上がりました。寺岡のぞみさんと一緒に司会進行を務め各校紹介では学校・地域ネタで会場を笑わせ、生徒達の緊張をほぐしてくれました。

各校工夫を凝らした演出で日々の活動発表を行いました。皆さんとても緊張しながら、一生懸命発表しました。





大会終了後、キャンパス内カフェテラスにて交流会を行いました。他校生徒との輪も広がり交流会はアットホームな雰囲気にも包まれていました。



シンポジウム

大会2日目は百周年記念館4F記念講堂へ場所を移し、シンポジウム及び表彰式が行われました。各校へ質問アンケートを実施。質疑応答では先生方とのお話に、真剣にメモを取っていました。



海外で医療を行うことの難しさ、葛藤を現場の車椅子生活を余儀なくされた時、仲間から「できることを数えよう」と言われ意識が変わったと増子恵美先生。チェルノブイリ原発事故の画像を交えながら高校生に熱いエールを送った鎌田實先生。

表彰式

大会主催「風に立つライオン基金」設立者さだまさしが登場。「被災地を訪問すると、避難所でボランティアを笑顔で頑張っている高校生たちに出逢い僕たち大人が逆に勇気づけられ、元気をもらうことが本当に多くありました。そういう活動をしている若者を褒め称えたいと思ったことが本アワード開催のきっかけでした。皆で助け合っていきたい」と挨拶し生徒たちを励ました。プレゼンターの鎌田實先生、若旦那さん、ももいろクローバーZの皆さんもステージに立ち表彰式がスタート。財団より賞状(若獅子賞)、表彰状、ライオンユース認定証、ボランティア・アワードTシャツ、タオルマフラー、Yahoo!JAPAN、国境なき医師団からも記念品が贈呈されました。



サプライズライブ風景



ももいろクローバーZの皆さんの元気な歌声に場内はヒートアップ!



若旦那さんの熱いメッセージに生徒達が周りに集い、会場が1つに。



トリを務めるのはさだまさし。最後の曲、「風立つライオン」のAmazing Graceでは出演者全員が登場。



次回「高校生ボランティア・アワード2017」は2017年8月10日開催予定です。
最新情報・応募詳細はホームページでお知らせいたします。

<http://lion.or.jp>

高校生ボランティアアワード



風に立つライオン基金 活動報告



●2015年8月10日
「一般財団法人 風に立つライオン基金」設立



●2015年10月11日
北関東・東北豪雨で被害を受けた茨城県常総市にて、泉谷しげる氏と共に支援コンサート開催
義援金100万円贈呈

●2015年12月30日
フィリピンにある児童養護施設「ハウスオブジョイ」、ケニアの児童医療支援団体「チャイルド
ドクタージャパン」、同じくケニアで障害を持った子供たちに教育や医療を提供している「シロアム
の園」にそれぞれ支援金100万円ずつを贈呈

●2016年2月26日
Hitachi Presents「第一回 風に立つライオン基金チャリティーイベント さだまさし 桂文枝
二人会～笑いは世界を救う～」を開催



●2016年3月28日
スーダンや東北で医療活動をしている「NPO法人ロシナンテス」、東日本大震災の犠牲者を記
録に残す「生きた証プロジェクト」(岩手県大槌町)にそれぞれ支援金100万円ずつを贈呈

●2016年4月14日
第75回日本医学放射線学会総会にさだまさしが出席、講演(ミニコンサート)を行う

●2016年4月23日
平成28年熊本地震で甚大な被害を受けた熊本県西原村と益城町を訪問
支援物資としてカステラとどら焼き1,000個ずつを避難所に贈呈



●2016年5月9日
熊本地震で被災した大分県由布市に義援金300万円贈呈
熊本県南阿蘇村の支援基地となっている大分県竹田市に支援金100万円贈呈

●2016年6月17日
熊本県南阿蘇村で支援コンサートを開催、義援金500万円贈呈



●2016年7月14日
第71回日本消化器外科学会総会 特別企画8「発展途上国やへき地における医療支援」に
さだまさしが出席、講演とミニコンサートを行う

●2016年8月1日
2016さだまさしチャリティーコンサート at 東京国際フォーラム
風に立つライオン基金の主催コンサートを開催
出演:さだまさし/佐渡 裕/スーパーキッズ・オーケストラ/若旦那/May J.

VOLUNTEER AWARD 2016

高校生ボランティア・アワード2016